

LuaLaTeX + 「源ノ角ゴシック CJK」 + 「源ノ明朝 CJK」 で日 中韓の文字の混在

このファイルでは「源ノ角ゴシック CJK」と「源ノ明朝 CJK」のフォントの利用を前提としています。

- <https://github.com/adobe-fonts> の「source-han-serif」（こちらが明朝）と「source-han-sans」（こちらがゴシック）からダウンロードして、インストールできます。

bib ファイルにおける設定

- 中国語、韓国語の文献は multi-lang.bib に登録されています。
- 中国語の文献には、language フィールドに cn か chn を指定してください。
language = {cn}、language = {chn} のようにです。
- 韓国語の文献には、language フィールドに ko か kor を指定してください。
language = {ko}、language = {kor} のようにです。

1 引用例

- 張 (2009): 『教育—経済投入占用产出模型研究』
- 胡 (2020): 「关于用于句末的“期待”」
- 何 (2020): 「浅析日本景点中文介绍中翻译的误区：以日本古城堡相关词汇为例」
- 강 (2020): 「미시통계자료를 리용한 행동경제학의 실증분석과 재일조선인연구에로의 적용가능성」
- 권 (2020): 『환경경제학 개정판 4 판』
- 김 · 이 · 조 · 임 (2011): 「한국의 산업별 생산의 대체탄력성 추정」
- 有村 · 武田 (2017): 『节能与排放量交易的经济分析：日本企业和家庭的现状』
- 尼古拉斯 · 斯特恩 (2016): 『尚待何时？ 应对气候变化的逻辑、紧迫性和前景』
- 国家统计局国民经济核算司 (2009): 『中国 2007 年投入产出表』
- Antràs and Helpman (2004): “Global Sourcing”
- Böhringer and Löschel (2006): “Computable General Equilibrium Models for Sustainability Impact Assessment: Status Quo and Prospects”
- 内田 (1990): 『冥途 · 旅順入城式』
- 宮崎 (2015a): 「学術研究のためのオープンソース・ソフトウェア (1) XELATEX (靄見誠良教授退職記念号)」

2 問題点

問題その 1

- 日本語の文献については、yomi フィールドによって著者名の読みを指定しています（ひらがなで）。これにより、日本人著者の文献は「五十音順」に並びます。
- しかし、中国語、韓国語の文献については著者名の読みを指定していないので、順序は「五十音順」にはならないです（たぶん、著者名の文字の文字コード順です）。

問題その 2

- 中国語、韓国語の文献については、日本語文献と同じような見た目になるようにしています。
- 姓名は「姓→名」の順。論文タイトルは「」、書籍のタイトルは『』で囲む。
- ですので、あくまで日本語の論文で中国語、韓国語の文献を引用するという前提です。

問題その 3

- それと韓国語については全く理解できないため、例として利用している文献もおかしくなっているかもしれません。適当にネットで検索して出てきた文献を使っています。名前の姓と名の区切も全くわからないので、ハングルの最初の一字を姓として扱っています。

参考文献

- Adès, Julie, Jean-Thomas Bernard, and Patrick Gonzalez (2010) “Energy Use and GHG Emission of the Québec Pulp and Paper Industry : An Econometric Analysis.”
- Allais, Maurice (1953) “Le Comportement de l’Homme Rationnel devant le Risque: Critique des Postulats et Axiomes de l’École Américaine,” *Econometrica*, Vol. 21, No. 4, pp. 503–546, DOI: [10.2307/1907921](https://doi.org/10.2307/1907921).
- Antràs, Pol and Elhanan Helpman (2004) “Global Sourcing,” DOI: [10.1086/383099](https://doi.org/10.1086/383099).
- Bouët, Antoine, Lionel Fontagné, and Sébastien Jean (2006) “Is Erosion of Tariff Preferences A Serious Concern?” in Anderson, Kym, Will Martin, Kym Anderson, and Will Martin eds. *Agricultural Trade Reform and the Doha Development Agenda*, Chap. 6, pp. 161–192, Washington D.C.: World Bank.
- Böhringer, Christoph and Patrick Jochem (2007) “Measuring the immeasurable: A survey of sustainability indices,” *Ecological economics*, Vol. 63, No. 1, pp. 1–8, DOI: [10.1016/j.ecolecon.2007.03.008](https://doi.org/10.1016/j.ecolecon.2007.03.008).
- and Andreas Löschel (2006) “Computable General Equilibrium Models for Sustainability Impact Assessment: Status Quo and Prospects,” *Ecological Economics*, Vol. 60, No. 1, pp. 49–64, November, DOI: [10.1016/j.ecolecon.2006.03.006](https://doi.org/10.1016/j.ecolecon.2006.03.006).
- Iregui, Ana María, Estudios Económicos, Banco de la República, and Colombia Bogotá (1999) “Efficiency Gains from the Elimination of Global Restrictions on Labour Mobility: an Analysis Using a Multiregional CGE Model.”
- Jaeger, Carlo C., Joan David Tàbara, Diana Mangalagiu, Roland Kupers, Antoine Mandel,

- 中央環境審議会 (2006) 「CO2 回収・貯留技術 (CCS) について (審議経過の整理)」, 8 月.
- 中村慎一郎 (2000) 『Excel で学ぶ産業連関分析』, エコノミスト社.
- 松浦寿幸 (2010) 『Stata によるデータ分析入門: 経済分析の基礎からパネル・データ分析まで』, 東京図書.
- 宮崎憲治 (2015a) 「学術研究のためのオープンソース・ソフトウェア (1) XELATEX (霧見誠良教授退職記念号)」, 『経済志林』, 第 82 巻, 第 4 号, 285–321 頁, 3 月, URL: <http://ci.nii.ac.jp/naid/120005614155/>.
- (2015b) 「学術研究のためのオープンソース・ソフトウェア (2) BiBTEX と Zotero」, 『経済志林』, 第 83 巻, 第 2 号, 119–149 頁, 11 月, URL: <http://ci.nii.ac.jp/naid/120005678435/>.
- 森鷗外 (2012) 『山椒大夫・高瀬舟・阿部一族』, 角川文庫, 角川書店.
- 横溝廣子 (2007) 『海野勝珉 下絵・資料集—東京芸術大学大学美術館所蔵』, 東方出版.
- 何龍 (2020) 「浅析日本景点中文介绍中翻译的误区: 以日本古城堡相关词汇为例」, 『愛知淑徳大学論集. 交流文化学部篇』, 第 10 号, 19–27 頁, URL: <https://ci.nii.ac.jp/naid/40022198771/>.
- 国家统计局国民经济核算司 (編) (2009) 『中国 2007 年投入产出』, 中国统计出版, 北京.
- 尼古拉斯・斯特恩 (2016) 『尚待何时?: 应对气候变化的逻辑、紧迫性和前景』, 齐晔他訳, 东北财经大学出版社, 中国語版. 原題: Why Are We Waiting?.
- 张红霞 (2009) 『教育—经济投入占用产出模型研究』, 中国经济出版社.
- 有村俊秀・武田史郎 (編) (2017) 『节能与排放量交易的经济分析: 日本企业和家庭的现状』, 邹洋・叶金珍・杨学成・午森訳, 东北财经大学出版社, 中国語版. 邦題: 『排出量取引と省エネルギーの経済分析: 日本企業と家計の現状』.
- 胡杰 (2020) 「关于用于句末的“期待”」, 『人文学研究所報= Bulletin of the Institute for Humanities Research』, 第 63 号, 43–52 頁, 3 月, URL: <https://ci.nii.ac.jp/naid/40022221997/>.
- 강명일 (2020) 「미시통계자료를 리용한 행동경제학의 실증분석과 재일조선인연구에로의 적용 가능성」, 『朝鮮大学校學報 = 조선대학교학보 = Journal of Korea University』, 第 30 巻, 37–55 頁, URL: <https://ci.nii.ac.jp/naid/40022308104/>.
- 권오상 (2020) 『환경경제학 개정판 4 판』, 박영사.
- 김성태・이상돈・조경엽・임병인 (2011) 「한국의 산업별생산의 대체탄력성추정」, 『응용경제』, 第 13 巻, 第 3 号.